

検査のパレット

2012 年に CKD のガイドラインが改訂され、重症度のステージ分類も変更されました。

CKD とは… **慢性腎臓病(Chronic Kidney Disease)のことです。**

成人の約8人に1人は CKD と推定されています。

腎臓病はもちろんのこと、生活習慣病(糖尿病、高血圧、脂質代謝異常など)、メタボリック症候群との関連も深く、さらに心臓病や脳卒中などの心血管疾患になりやすいことが明らかになっています。

CKD の初期は、自覚症状がありません。貧血、疲労感、むくみなどの症状が現れたときには病気がかなり進行している可能性があります。腎臓は一度あるレベルまで悪くなってしまうと自然に治ることがありません。放っておくとどんどん進行し取り返しのつかないことになる恐れがあります。

CKD の定義

下記の①、②のいずれか、または両方が 3 か月以上持続した状態のことを言います

①尿検査で尿蛋白陽性、画像診断、血液、病理で腎障害の存在が明らかであること。

特に **0.15g/gCr 以上の蛋白尿(30 mg/gCr 以上のアルブミン尿)**の存在が重要！

②GFR(eGFR)が **60 mL/分/1.73 m²未満に低下**していること

OGFRとは糸球体ろ過量(糸球体が1分間にどれくらいの血液をろ過して尿を作るかを示す値)

腎機能を表す指標です。

OeGFR は推算糸球体ろ過量の略語でクレアチニン(Cr)値と年齢・性別の3つから計算して出すGFRです

CKD はその原因や進行度(ステージ)に分けられ重症度が区別されています。

原疾患	尿たんぱく区分	A1	A2	A3
糖尿病	尿アルブミン定量 (mg/日) 尿アルブミン/Cr比 (mg/gCr)	正常 30未満	微量アルブミン尿 30~299	顕性アルブミン尿 300以上
高血圧 腎炎 多発性骨髄腫 移植腎 不明 その他	尿たんぱく定量 (g/日) 尿たんぱく/Cr比 (g/gCr)	正常 0.15未満	軽度たんぱく尿 0.15~0.49	高度たんぱく尿 0.50以上
GFR区分 (mL/分/1.73m ²)	G1 正常または高値	>90		
	G2 正常または軽度低下	60~89		
	G3a 軽度~中等度低下	45~59		
	G3b 中等度~高度低下	30~44		
	G4 高度低下	15~29		
	G5 末期腎不全 (ESRD)	<15		

重症度は原疾患・GFR区分・尿たんぱく区分をあわせたステージにより評価する。CKDの重症度は死亡、末期腎不全、心血管死亡、発症のリスクを緑色のステージを基準に、黄・オレンジ・赤色の順にステージが上昇するほどリスクは上昇する。

例えば、GFR46、糖尿病で、微少アルブミン尿 200 の時 **G3aA2** で **オレンジ色のマス目** のリスクを負っていることになります。

今後とも検査室をよろしくお願いします。

前回のガイドラインでは評価項目は GFR、1 つのみでステージが5段階で評価されていました。イメージとして表の左下半分で評価されていたことになります。今回の改定で重症度は原因(Cause: C)、腎機能(GFR: G)、蛋白尿(アルブミン尿: A)の“CGA”の 3 つの評価項目に基づいて判定されることになりました。表でいえば上半分の区分も合わせて評価され、色つきのマス目部分で患者の重症度・リスクがわかる仕組みになっています。

今回の改定でプロセスはより詳細に分けられ複雑化しましたが、正確性や診断の妥当性は増すものと推測され、治療方針も第一選択薬を使用するだけでなく、患者の状態に合わせて治療するように変更になりました。また重症度判定にもとづく、専門医への紹介基準などもガイドラインに明記されており、一般医の治療方針として大変わかりやすくなっています。なおCKD重症度分類を別紙で添付します。ご利用下さい。(参考文献:CKD 診療ガイド 2012)

文責:白濱 小百合 監修:石竹 久仁

CKDの重症度分類

原疾患		尿たんぱく区分		A1	A2	A3
糖尿病		尿アルブミン定量 (mg/日) 尿アルブミン/Cr比 (mg/gCr)		正常	微量アルブミン尿	顕性アルブミン尿
				30未満	30~299	300以上
高血圧 腎炎 多発性嚢胞腎 移植腎 不明 その他		尿たんぱく定量 (g/日) 尿たんぱく/Cr比 (g/gCr)		正常	軽度たんぱく尿	高度たんぱく尿
				0.15未満	0.15~0.49	0.50以上
GFR区分 (mL/分 /1.73m ²)	G1	正常または高値	>90			
	G2	正常または軽度低下	60~89			
	G3a	軽度~中等度低下	45~59			
	G3b	中等度~高度低下	30~44			
	G4	高度低下	15~29			
	G5	末期腎不全 (ESRD)	<15			

重症度は原疾患・GFR区分・尿たんぱく区分をあわせたステージにより評価する。CKDの重症度は死亡、末期腎不全、心血管死亡発症のリスクを緑■のステージを基準(正常)に、黄■・オレンジ■・赤■の順にステージが上昇するほどリスクは上昇する。

(KDIGO CKD guideline 2012 を日本人用に改変)